● FCP平成29年度の取組に関する説明会

日時　　第１回　平成 29 年 4 月 20 日（木）11:00～12:30

　　第２回　平成 29 年 4 月 20 日（木）16:00～17:30

　　会場　　中央合同庁舎第 4 号館部屋番号 14（1219～1221）
　　農林水産省会議室２

　　参加者　90 社・団体／110 名（登録者数 2 回合計）

議事次第

1.　開会挨拶

2.　平成 29 年度の研究会・勉強会のテーマと進め方について

①全体運営
②FCP“つくる／みがく”活動（研究会・勉強会活動）
（1）食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会
（2）標準・制度に関する勉強会（JAS 制度の見直しについて）
（3）若手フォーラム～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
③FCP“つながる／ひろげる”活動（交流・活動拡大、普及戦略・普及活動全般）
（1）FCP 基礎講座「食の安全・信頼向上のためのセミナー」
（2）地域ブランチ
（3）子ども霞ヶ関見学デー
④　その他「FCPホームページの見直し検討について」
⑤　勉強会、フォーラム活動参加申込方法等について

3.　質疑応答

4.　閉会挨拶

説明会概要

1. FCP 活動について

FCP の基本的な考え方や基本理念、行動指針について御説明し、FCP 活動の本質について再確認を行いました。
（詳細につきましては、資料 1 を御参照下さい。）

2. 平成 29 年度の研究会・勉強会のテーマと進め方について

（1） 平成 29 年度の研究会・勉強会について

平成 29 年度の研究会・勉強会について、各研究会・勉強会の趣旨、テーマ、進め方等を御説明しました。

平成 29 年度の研究会・勉強会は以下のとおりです。
（活動内容及びスケジュール等の詳細につきましては、資料 2 を御参照下さい。）

① FCP“つくる/みがく”活動（研究会・勉強会活動全般）

・ 食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会

・ 標準・制度に関する勉強会 （JAS 制度の見直しについて）

・ FCP 若手フォーラム ～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～

② FCP “つながる/ひろげる”活動（交流・活動拡大、普及戦略・普及活動全般）

（2） 参加申し込みについて

平成 29 年度研究会・勉強会の参加規約、参加申し込み方法及び参加申込書の提出期限等の概要について御説明しました。
（詳細につきましては、資料 3、4 を御参照下さい。）

配布資料

フード・コミュニケーション・プロジェクト（ＦＣＰ）
平成29年度　ＦＣＰ活動説明会

日　時：平成29年４月20日（木）午前 11:00-12:30 午後 16:00-17:30
（内容は各回とも同じ）
場　所：中央合同庁舎４号館　部屋番号⑭（1219-1221）農林水産省 会議室２

議事次第

１　開会挨拶

２　平成29年度の研究会・勉強会等のテーマと進め方について
　①　全体運営
　②　ＦＣＰ“つくる／みがく”活動（研究会・勉強会活動）
　　（１）食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会
　　（２）標準・制度に関する勉強会
　　（３）若手フォーラム～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
　③　ＦＣＰ“つながる／ひろげる”活動（交流・活動拡大、普及戦略・普及活動全般）
　　（１）ＦＣＰ基礎講座「食の安全・信頼向上のためのセミナー」
　　（２）地域ブランチ
　　（３）子ども霞ヶ関見学デー
　④　その他「ＦＣＰホームページの見直し検討について」
　⑤　勉強会、フォーラム活動参加申込方法等について

３　質疑応答

４　閉会挨拶

配布資料

（資料１）　フード・コミュニケーション・プロジェクト（ＦＣＰ）活動について
（資料２）　平成29年度ＦＣＰ活動の進め方について
（資料３）　ＦＣＰ研究会・勉強会　参加規約及び参加登録申込書
（資料４）　ＦＣＰ若手フォーラム～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
　　募集要項／参加申込書
（資料５）　平成29年度ＦＣＰ活動説明会に関する意見について
（参考資料）　・平成28年度ＦＣＰ若手フォーラム活動報告
　　・平成29年度ＦＣＰ若手フォーラム活動計画詳細

資料1

平成29年度ＦＣＰ活動説明会

フード・コミュニケーション・プロジェクト（ＦＣＰ）活動について

平成29年４月20日(木)

農林水産省
食料産業局　食品製造課　食品企業行動室
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

フード・コミュニケーション・プロジェクト（ＦＣＰ）とは？

FOOD COMMUNICATION PROJECT

Food Communication Project (FCP)

フ　ー　ド　・　コ　ミ　ュ　ニ　ケ　ー　シ　ョ　ン　・　プ　ロ　ジ　ェ　ク　ト

食品事業者の意欲的な取組の活性化を通じて、消費者の「食」に対する「信頼」を向上させるために、農林水産省が提供するプラットフォームの下に食品事業者や関連事業者が主体的に「協働」で活動するプロジェクト
（平成20年６月立ち上げ）

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰの基本的な考え方

http://www.food-communication-project.jp/intro/index.htmlより

食品事業者の皆さんと作り上げるプロジェクト

食品事業者に対する、消費者の信頼向上を図る

　食品事業者が、自らの顧客ニーズを見極め、創意工夫を発揮してビジネスを展開することを通じて、「食」に対する消費者の信頼向上を目指します。そして食に携わる関係者がそれぞれの活動を展開することにより、意欲的な食品事業者へメリットが還元され、その取組が持続的に充実・強化される姿を理想とします。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ基本理念

「食」への信頼、見える化計画

FCPは、食品事業者、関連事業者、行政、消費者等の連携により消費者の「食」に対する信頼の向上に取り組むプロジェクトです。

「食」の供給に携わる食品事業者は、その社会的な使命として、消費者の「食」に対する信頼の向上に取り組む必要があります。また、食品事業者を支える関連事業者等も、食品事業者の活動を通して、消費者の「食」に対する信頼向上に関わることが大切です。

食品が食卓に届くまでのフード・チェーンは長く、複雑で、一食品事業者や一関連事業者等の個別の努力のみでは、消費者の「食」に対する信頼を高めていくことは困難です。さらに、信頼を高めるためには、事業者と消費者の相互理解と、消費者からのアプローチも必要となります。

このため、FCPは、立場の異なる食品事業者や関連事業者、そして消費者を結び付ける共通言語である「協働の着眼点」を活用しつつ、事業者と事業者、事業者と消費者の対話をベースとした協働の取組みを進めることで、フード・チェーン全体において食品事業者の取組みの「見える化」を進めていきます。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ行動指針

FCPに参加する者は、FCPの基本理念に則り、以下の行動指針を遵守するものとします

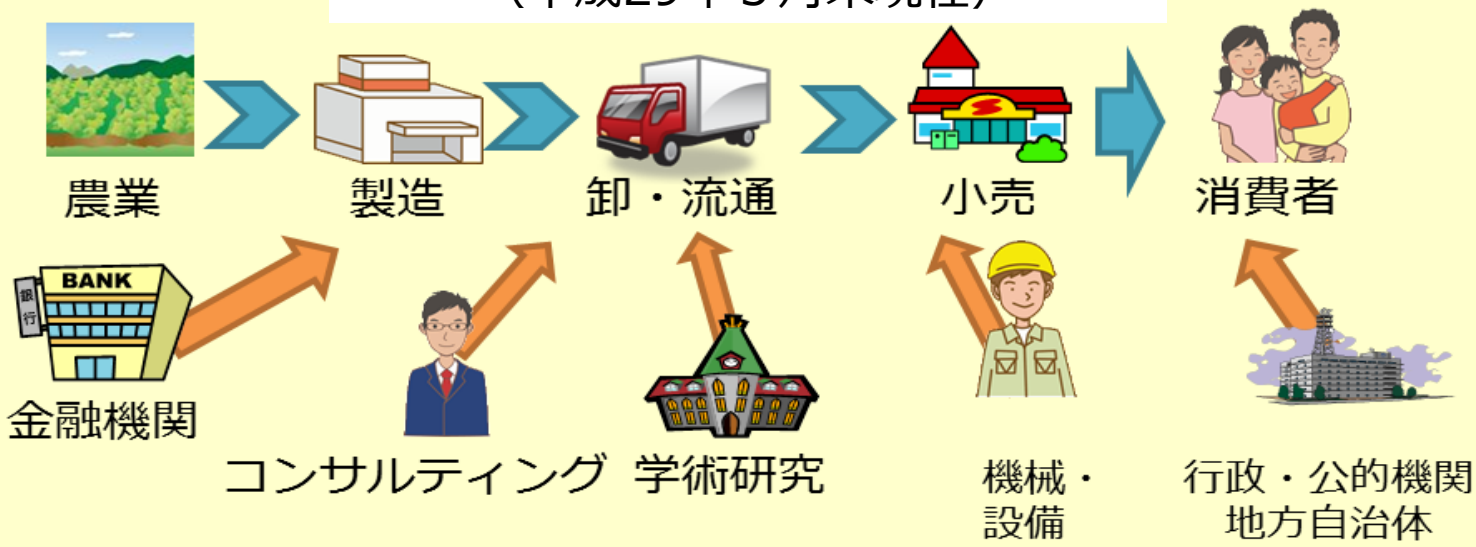
1.消費者の食に対する関心や期待に向き合い、「食」に対する信頼の向上に主体的に取り組みます。
2.消費者の「食」に対する信頼の向上という共通の目的のために、業種・業態等の立場や利害の違いを超えた協働を進めます。
3.協働による相乗効果を発揮するために、公平性、透明性を重視するとともに、多様性を尊重し、お互いにとってより良い解(WIN-WINの関係)を探す姿勢を保ちます。
4.「協働の着眼点」を、社内、事業者間、さらに、消費者とのコミュニケーションのツールとして活用し、協働の取組みを進めるためのツールとしても積極的に活用します。
5.「協働の着眼点」の活用を拡大、発展させていくため、その活用に関する情報共有や意見交換に努めます。
6.法令を遵守することはもとより、「食」に対する信頼の向上に関わる事業者としての社会的責任を意識して行動します。
7.「食」に対する信頼の向上を終わりのない挑戦と捉え、「協働の着眼点」の改善に寄与するとともに、FCPの持続的発展に貢献します。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ情報共有ネットワーク

FCP情報共有ネットワーク

農林水産省：プラットフォームの提供
食品関連事業者：1,879社/団体が参画
（平成29年３月末現在）



【活動内容】

- 情報共有（コミュニケーションの促進）
- 工場監査項目等の共有化（見える化）
- 参加企業のレベルアップ（人材育成）

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰこれまでの歩み

年度	勉強会・研究会・会議	参加企業/団体数	地域ブランチ開催県
20年度	企業行動の情報発信研究会 アセスメント研究会 地域活性化研究会	208	
21年度	企業行動の情報発信研究会 アセスメントの効率化研究会 地域活性化研究会	527	岩手県 三重県 愛媛県 和歌山県
22年度	FCP普及・戦略研究会 アセスメント研究会 「消費者との対話のあり方」研究会 工場監査項目・共有化研究会 商品情報の効率的なやりとり研究会 企業力向上の場としてのマッチング・商談会の活用に関する研究会	939	大分県
23年度	FCP普及・戦略研究会 アセスメント研究会 「消費者との対話のあり方」研究会 工場監査項目の標準化・共有化研究会 商品情報の効率的なやりとり研究会 企業力向上の場としてのマッチング・商談会の活用に関する研究会	1,244	栃木県 島根県 滋賀県 山梨県
24年度	FCP普及・戦略研究会 「食の信頼」標準化研究会 FCP企業力アップ研究会 消費者対話の活性化勉強会 品質監査に関する研究会 商品情報の効率的なやりとり研究会 「FCP展示会・商談会シート」の普及に向けた勉強会	1,452	埼玉県 岡山県 群馬県 福井県

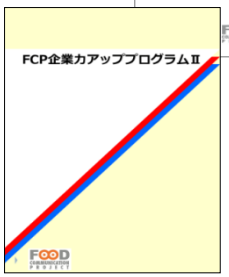
年度	勉強会・研究会・会議	参加企業/団体数	地域ブランチ開催県
25年度	消費者普及システム研究会 品質監査に関する勉強会 輸出版FCP展示会・商談会シート研究会 農場と食品事業者をつなぐ研究会 つながる会議 第１回　食の信頼向上に女性の感性を活かす 第２回　信頼のおける食品企業とは～仕事と自分の暮らし～	1,632	
26年度	企業力アップ研究会 国際標準に関する勉強会 つながる会議 第１回　女性の視点を生かした食品の安全と消費者の信頼確保の取組、課題解決 第２回　地方中小事業者の食品安全向上、国際的に見た食品安全の評価について 第３回　未来の食品産業について考える	1,708	青森県
27年度	消費者対応勉強会 工場監査実証研究会 国際標準に関する勉強会 植物工場勉強会 つながる会議 第1回　身近なところから食の信頼ネットワークを広げるには？～「食品初耳学！　人に話したい食に関する業界の常識」～ 第2回　ＦＣＰって何をやっているの？～「ＦＣＰの基礎を学んでネットワークに参加しよう」～ 企業力を向上させるＦＣＰ展示会・商談会シート活用研究会	1,816	
28年度	ツールの活用を考える研究会 標準・制度に関する勉強会 若手フォーラム つながる会議 第１回　安全安心のその取組、消費者に伝わってますか？～「食品初耳学！第２弾　人に話したい食に関する業界の常識」～ 第２回　企業力アップセミナー～「食の安全の取組を振り返り、消費者の食の信頼向上につなげよう」～	1,879	徳島県

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

アウトプット

企業・商品の「見える化」のツール

20年度	協働の着眼点(第1版)
	ベーシック16
21年度	FCP共通工場監査項目（第1版）
	FCPダイアログ・システム（第1版）
	FCP展示会・商談会シート
22年度	展示会・商談会シート項目と着眼点との関連
	「FCP展示会・商談会シート」の利用に関するQ＆A
	FCP共通工場監査項目に関する要求水準及び監査手法　第1版
	FCPダイアログ・システム 作業シートフォーマット
23年度	FCP展示会・商談会シート　作成のてびき
	FCP展示会・商談会シート　作成のてびき　項目別補足シート
	用途別・目的別　工場監査シート　自動作成ページ
	FCP共通工場監査項目ファースト ステップ ガイド
	FCP共通工場監査項目チェックリスト第1版
	FCP商品情報の管理体制項目
24年度	FCP企業力アッププログラムI
	FCP共通工場監査項目 指摘事例集（事例で学ぶ工場監査）～監査担当者が注意を払う監査項目29項目と実際の監査シーンで見られる指摘事例集～
25年度	商談会シート(輸出日本語版、英語版、中国語版、韓国版)
	輸出版商談会補足シート
26年度	FCP企業力アッププログラムII
	FCP企業力アッププログラムII　支援者活用ガイド
	FCP企業力アッププログラムII　付属テキスト（①やってみようB16、②FCP工場監査項目チェックリスト第2版）
	FCP共通工場監査項目に関する要求水準及び監査手法第2版
	FCP共通工場監査項目監査手順書
27年度	FCP展示会・商談会シート（第3版）、FCP展示会・商談会シートのてびき（改訂版）



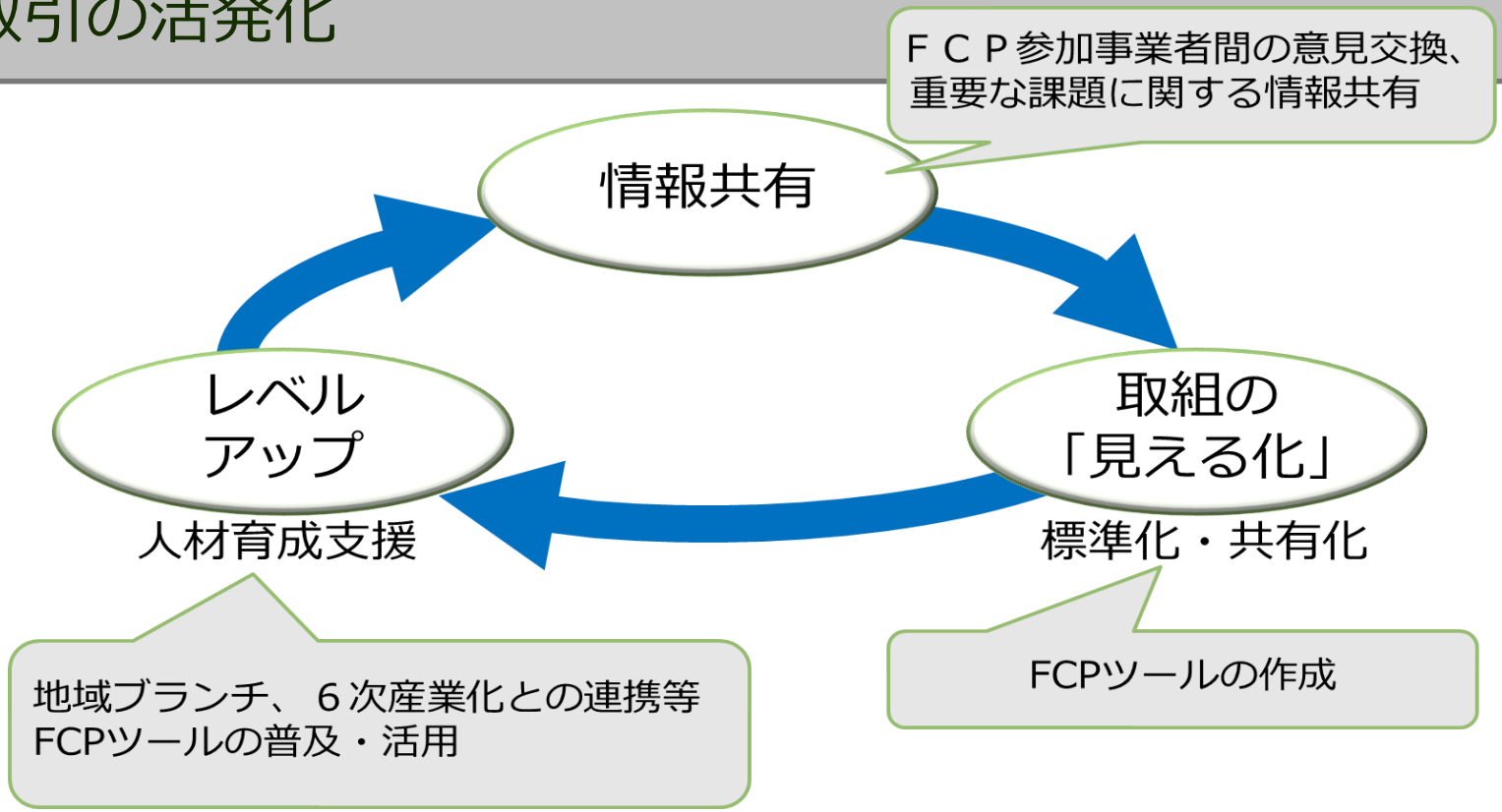
Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ活動のねらい

目　標

- ●消費者の信頼向上
- ●食品安全の向上・食品事故の減少
- ●企業コンプライアンスの向上
- ●取引の活発化

中小事業者を含めた
取組の強化



Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ活動の機能（図解）

情報共有

① フードチェーンを通じて意見交換

他企業との目線合わせ（標準を探る）ができる

取組の「見える化」

②標準化活動

文書等にする

ツールの作成

一部発展

ＪＦＳ規格・認証

取り組むべき事項が明らかに！

【個社】

レベルアップ

①他企業との目線合わせ（標準を探る)によるレベルアップ
②標準化活動を行うことによるレベルアップ
③自社内でのツールを用いた教育によるレベルアップ

自社の振り返り

自社内で「見える化」

③（教育）

【取引先、消費者】

取引先、消費者への伝達

取引先、消費者にも「見える化」

消費者の食の信頼向上

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ活動の今後の方向性

（「FCPツールの活用を考える研究会」まとめから抜粋）

様々な変化に対応すべく、食の安全・信頼に関する新たな知見を蓄積し、取組を推進していくことが必要

１.情報共有

様々な観点からの有識者等を招いた勉強会を開催し、時々の変化に対する企業活動の参考となり得る新たな知見を蓄積する取組を実施。このことにより、新たな気づきが得られるとともに、他業者との目線合わせや標準を探る。

2.標準化活動

FCPではこれまで協働の着眼点等のツールを作成し、これらのツールを活用することで、食品事業者の取組向上や事業者間や消費者へ取組の見える化が図られてきたところ。今後とも課題共有を通じて標準化活動及びツールの改善や作成等を行う。

3.レベルアップ

食の安全・信頼の取組は、社会情勢や消費者ニーズの変化に応じて、やり方も見直し、継続・継承していくことが重要。また、この取組が重要であるということの認識を広げ、取組を拡大していくことが重要。このため食品企業内での後継者を育成する取組、地域の食品事業者に広める取組を行う。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

資料２

平成29年度ＦＣＰ活動説明会

平成29年度ＦＣＰ活動の進め方について

平成29年４月20日(木)

農林水産省
食料産業局　食品製造課　食品企業行動室
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

内　　容

1．　平成29年度のＦＣＰ活動について

2．　ＦＣＰ“つくる/みがく”活動（研究会・勉強会活動全般）
　（１）食品の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会
　（２）標準・制度に関する勉強会（ＪＡＳ制度の見直しについて）
3．　ＦＣＰ若手フォーラム
　　～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
4．　ＦＣＰ“つながる/ひろげる”活動
　　（交流・活動拡大、普及戦略・普及活動全般）
　（１）つながる会議
　　－１　ＦＣＰ基礎講座「食の安全・信頼向上のためのセミナー」
　（２）ひろげる活動
　　－１　地域ブランチ
　　－２　子ども霞が関見学デー
5．　その他

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

１.平成29年度のＦＣＰ活動について

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

平成２９年度ＦＣＰ活動　全体図（素案）

FOOD COMMUNICATION PROJECT

ＦＣＰ活動

- 地方自治体
- 大学等学術機関
- 他省庁
- 関連団体

連携

ＦＣＰ情報共有ネットワーク参加企業・団体
農林水産省ＦＣＰ事務局

つくる/みがく
（研究会・勉強会活動）

ひろげる/つながる
（普及戦略・普及活動、交流・活動拡大）

標準化

人材育成

標準・制度に関する勉強会

新たな知見の蓄積（勉強会）

ＦＣＰ若手フォーラム

地域ブランチ

食品事業者普及促進（セミナー）

消費者普及促進

FCPつながる会議

（食の安全・信頼向上のためのセミナー）

- 各種普及プロジェクト
- ６次産業化との連携

- 各種イベントへの出展
- 消費者対話実施

- セミナー
- グループワーク
- ネットワーキング

プラス
- 事業者による実践
- 消費者とのコミュニケーション

地域における 活動のひろがりをもっと

Copyright (C) 2017　MAFF All Rights Reserved.

これまでの活動効果と課題

1　これまでの活動効果

【活動の効果】

- 業種、業態を超えた情報共有（課題の共有等）
- 標準化活動（ツールの作成）
- 活動に参加することによるレベルアップ（人、企業）

【議論の中で提示された課題】

- 地方中小企業等へ食の安全・信頼の取組の普及が不十分
- FCP活動やツールの認知度が低い（ＦＣＰの情報発信力が弱い）
- 消費者の食品に対する要求が高まっている中、消費者対応に関する取組が少ない

2　今後の活動

取組の継続

手法の見直し
または取組の充実

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

平成29年度　FCP研究会・勉強会活動等

つくる／みがく

人材育成

- 食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会

企業活動の参考となり得る新たな知見を蓄積する

標準化

- 標準・制度に関する勉強会

- FCP若手フォーラム

食の安全・安心の観点から企業行動を考える

ひろげる／つながる

ひろげる活動

つながる会議

食の安全・信頼向上のためのセミナー

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

2．FCP “つくる/みがく” 活動（研究会・勉強会活動）

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

（1）食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会
趣旨

・食品の安全を確保するとともに、消費者の信頼を得るためには、食品事業者を取り巻く社会環境の変化や消費者意識の変化等を把握するとともに、変化に応じた対応を実施していくことが重要となっています。

・そこで、様々な観点から有識者等を招いて、時々の変化に対する企業活動の参考となり得る新たな知見を蓄積する勉強会を開催します。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会
進め方

【勉強会の進め方】

① 有識者の方の講演（全体）
有識者の方より、食の安全・信頼の向上に関する最新の情報についてお話しいただきます。

② 事業者の方の講演（全体）
事業者の方より、テーマに関する実際の取組事例についてお話しいただきます。

③ ディスカッション（グループごと）
グループごとに論点について議論していただき、情報共有や新たな課題の整理を行います。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会
テーマ（案）

【１】
午前：食の安全・安心ネットワーク
ＦＣＰの狙いと機能、ツールの活用を通じた信頼向上の取組
午後：食の安全・信頼～海外と日本の比較から
海外の食の安全に対する取組と日本の課題
海外の飲食店・新しい食品表示インフラの取組

【２】最先端ＩＣＴ技術と食の安全
ICT技術の現状と今後・事業の事例
ICT技術の発展により想定されるリスクと食の安全

【３】食の安全と信頼向上のためのコミュニケーション①
SNS・ネット炎上への対応と、従業員教育による危機管理

【４】食の安全と信頼向上のためのコミュニケーション②

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会
スケジュール（案）

平成29年								平成30年			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
FCP活動説明会		【1】午前：食の安全・安心ネットワーク 午後：食の安全・信頼～海外と日本の比較から 6/23(金)予定	【2】最先端ICT技術と食の安全		【3】コミュニケーション① 食の安全と信頼向上のための			【4】コミュニケーション② 食の安全と信頼向上のための		FCP活動・成果報告会	

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

（２）標準・制度に関する勉強会
（ＪＡＳ制度の見直しについて）

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

標準・制度に関する勉強会
テーマ案

テーマ：【ＪＡＳ制度の見直しについて】

- JAS規格制度について、ビジネスシーンで役立つものとなるよう大幅に見直すこととしています。
- これにより、これまでJAS規格として定めることが出来なかった食品の製造、保存・保管、輸送、販売の方法を含め、食品に関連する規格であればあらゆるものが定められるようになります。
- また、自らの商品、技術、取組のレベルの高さやこだわりといった「魅力」を規格として見える化し、既存のものとの差をアピールしたいといったニーズにも対応できるよう、JAS規格を事業者から提案いただきやすい手続を整備します。
- 本勉強会では、ビジネスシーンにおけるＪＡＳ規格の活用アイデアについて事例を含めて紹介するとともに、ＪＡＳ規格を提案する際の手続などについて情報提供を行います。
- 皆様からの具体的なご提案があれば、プロジェクト化しＪＡＳ規格化に取り組みます。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

標準・制度に関する勉強会
スケジュール（案）

29年度

ＪＡＳ法改正法案の国会審議

ＪＡＳ法改正の告示

■新たな民間申出制度の運用開始
■新たなＪＡＳ規格の制定に着手

標準・制度に関する勉強会（ＪＡＳ等）

30年度

■新たなＪＡＳ規格についての認証開始

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

memo

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

３．ＦＣＰ若手フォーラム

～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

FCP若手フォーラム
～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
趣旨

・　近年、消費者が食品に不安を抱くような事案が起きており、食の安全・安心への取組は、今や１企業だけにとどまらず、フード・チェーン全体での取組が求められています。

・　また、食の安全・安心への取組は、食品を取り扱う事業者にとって終わりのない取組であり、次代を担う若手社員に対し、ＦＣＰの基本的な考え方や食の安全・安心について学ぶ機会を設け、受け継いでいかなければなりません。

・　そこで、リスクマネジメントの手法、規格や事業者の食の安全への取組事例を学び、参加者１人１人が食の安全・安心の観点から企業行動を考えることを目的として、ＦＣＰ若手フォーラムを立ち上げます。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

FCP若手フォーラム
～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
進め方①

（１）内容

- 食の安全・安心に関係する事前学習をしながら、６～８名のグループの中で企業行動について議論し、最終的にグループで「新入社員向け研修プログラム～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～」を作成することを通じて理解を深めるとともに人的つながりを構築します。

（２）参加者

- 30代前半程度までの次代を担う若手社員を対象とします。
- 1年間を通して成果を得るため、毎回の出席を基本とします。
- １チーム内のメンバーは、様々な視点での知見を深めることを目的とし、様々な所属部署の方々で構成します。例えば、品質管理担当者、お客さまサービス担当者、製造工場ライン担当者、バイヤー、店舗部門責任者等です。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

FCP若手フォーラム
～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
進め方②

（３）議論の進め方・その他

- 専門家による講義とグループ討議を通して、グループごとに最終成果物「新入社員向け研修プログラム～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～」を作成していただきます。
- 1回1回が単発会とならず、最終的に成果に繋げていくゼミ形式とします。議論は、ファシリテーターが主導していきます。

＊ファシリテーター：東京農業大学　農山村支援センター　中山 幹生氏

- 参加者間の親睦を深めるため、各回、ランチ会や懇親会を予定します。

（４）他勉強会への参加案内

- 本フォーラムに参加登録された方へは、更なる知見の蓄積ができるよう、平成29年度に開催される「食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会」に自動的に参加登録させていただきます。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

FCP若手フォーラム
～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
テーマ案①

【１】イントロダクション
～行政の施策／食をめぐる情勢／FCPとは～

・イントロダクションとして、行政の施策、農林水産を中心とした食をめぐる情勢についての講義とFCPの説明を行い、１年間の勉強会における論点の整理を行う。
・ワークショップでは自社の取組についてホームページ等を閲覧しながら、ベーシック１６を記入する。

【２】我が社のリスクマネジメント
～協働の着眼点に即した事業者取組の事例を学ぶ～

・協働の着眼点に即した事業者取組の事例を学ぶ
・ワークショップでは、第１回目のイントロダクションを受けて、グループとしての最終成果物の作成に向けて、グループごとの計画書を立案する。

【３】専門家講義テーマ（未定）

・専門の講師から、講義をいただく。
・ワークショップでは、各自が取材計画書をもとに取材しまとめた「グッドプラクティス（ＧＰ）カード」を素材に、どの実践例を使ってストーリーを構成するかを検討し、紙芝居プレゼンテーションの紙面構成を決定する。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

FCP若手フォーラム
～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
テーマ案②

【４】成果物制作作業（ワークショップのみ）

・取材映像、資料素材を、はさみ、のり、ぺんを使って、紙芝居を作成する。
・また、プレゼンへ向けて原稿を作成する。
・新入社員向けに、分かりやすい言葉で、図で、構成で表現されているかを最終的に確認し、次回プレゼンまでの打合せをチームで実施する。

【５】最終成果物の発表と本勉強会総括

・グループごと「新入社員向け研修プログラム～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～」を発表する。
・その後、それぞれの成果物の評価として、投票を行う。
・本勉強会の総括として振り返りディスカッションを実施する。

【活動・成果報告会】

・平成２９年度ＦＣＰ活動成果報告会において、勉強会報告を行うとともに、第５回フォーラムにおいて実施したプレゼンに対する投票結果発表と表彰、表彰チームによる最終成果物のプレゼンを行う。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

FCP若手フォーラム
～食の安全・安心の観点から企業行動を考える～
スケジュール（案）

第１回 7/7(金)	第２回 9/1(金)	第３回 10/13(金)	第4回 11/17(金)	第5回 1/19(金)
イントロダクション ・行政の施策 ・食料産業をめぐる情勢 ・FCPとは？	専門家講義 「信頼を高めるコミュニケーションを学ぶ」 ・取引先に関する事例 ・お客様に関する事例 ・緊急時に関する事例	専門家講義 「　」 ・ ・ ・		プレゼンテーション ・紙芝居 プレゼンテーション
ワークショップ 「イントロダクション」 ベーシック16を書いてみる	ワークショップ 「計画書立案」 ・編集方針の決定 ・取材計画の策定	ワークショップ 「編集会議」 ・各自の取材ネタ「GPカード」をもとに、伝えるコンテンツを絞り込む	ワークショップ 「制作作業」 ・プレゼンシート作成 ・プレゼン原稿作成	ワークショップ 「総括」 これまでの振り返り
13:30-17:30 後　懇親会	10:00-16:30 間　ランチ会	10:00-16:30 間　ランチ会	13:30-17:30 後　懇親会	13:30-18:00 後　懇親会

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

memo

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

４．FCP“つながる／ひろげる”活動
（交流・活動拡大、普及戦略・普及活動全般）

（１）つながる会議
（２）ひろげる活動

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

４．（１）FCP つながる 会議
（食の安全・信頼向上のためのセミナー）

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

食の安全・信頼向上のためのセミナー
趣旨

- 「ＦＣＰつながる会議」は、従来のプロジェクト活動では知り合える機会が少ない方々がつながる場、交流の場として、平成25年度に立ち上げた活動です。
- 全国の食品事業者に、ＦＣＰ活動を通じて食の安全・信頼向上の取組を推進することで、食品事業者の取引・販路の拡大と地域の産業活性化につなげることを目的としています。
- 過去の地方開催において、普及範囲が参加事業者のみに留まっており、広がりが限定的であることが課題となっていました。
- 平成29年度は、地域振興を支援する機関の中央機関（日本商工会議所、中小企業基盤整備機構など）を通じて、全国にＦＣＰを活用した食の安全・信頼の取組を推進します。また地方開催のセミナーに、地域の食品事業者を支援する機関（都道府県、商工団体、金融機関など）にも参加いただくことで、事業者に取組を広く普及する仕組みをつくります。

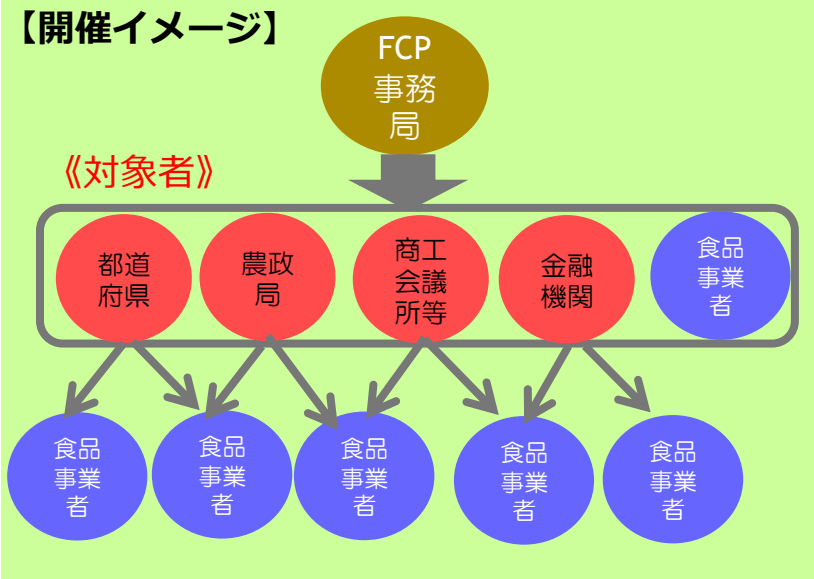
Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

食の安全・信頼向上のためのセミナー
進め方

（１）テーマは、以下を目的に設定
①食の安全・信頼についての基礎知識の習得
②ＦＣＰの考え方とツールの活用方法の紹介
③直近の食の安全・信頼に関するトピックの情報共有
④食品事業者が直面する課題についての情報共有

（２）対象者
①食品事業者（FCP会員、非会員）
②食品事業者を支援する関係機関（都道府県庁、商工団体、金融機関ほか）

（３）構成
①第1部（対象：関係機関）
・FCPの考え方
・食品事業者が食の安全・信頼に取組むための支援策について
②第２部（対象：食品事業者および関係機関）
・食をめぐる情勢と食の安全・信頼の取組の必要性
・FCPの考え方
・ワークショップ



Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

食の安全・信頼向上のためのセミナー
スケジュール（案）

平成29年									平成30年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
FCP活動説明会					食の安全・信頼向上のためのセミナー **第１回開催 9月下旬 名古屋 （予定）**					FCP活動・成果報告会	

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

memo

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

４．（２）FCP “ひろげる” 活動（普及戦略・普及活動全般）

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

“ひろげる”活動について（平成29年度に実施予定の活動例）

- 地域ブランチ活動
  - ・地域でのＦＣＰ普及
  - ・地場の食品産業の活性化につなげる活動
- 食品事業者の皆様への普及促進
  - ・６次産業化と連携したＦＣＰ普及
  - ・FCP教育プログラムの運用
- 消費者の皆様への普及促進
  - ・農林水産省主催の各種イベントでの展示
    （子ども霞が関見学デー、消費者の部屋等）

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

４．（２）－１
ＦＣＰ地域ブランチ

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

地域ブランチの概要

《地域ブランチとは》

地域独自の課題について、「フード・コミュニケーション・プロジェクト」の考え方やツールを活用して取り組み、地場の食品産業の活性化につなげる活動

ブランチ【branch】
木のような枝分かれした関連構造（ツリー構造）を持つデータなどの集合において、ある途中の要素から終端の要素までの一本の要素の並びをブランチという。

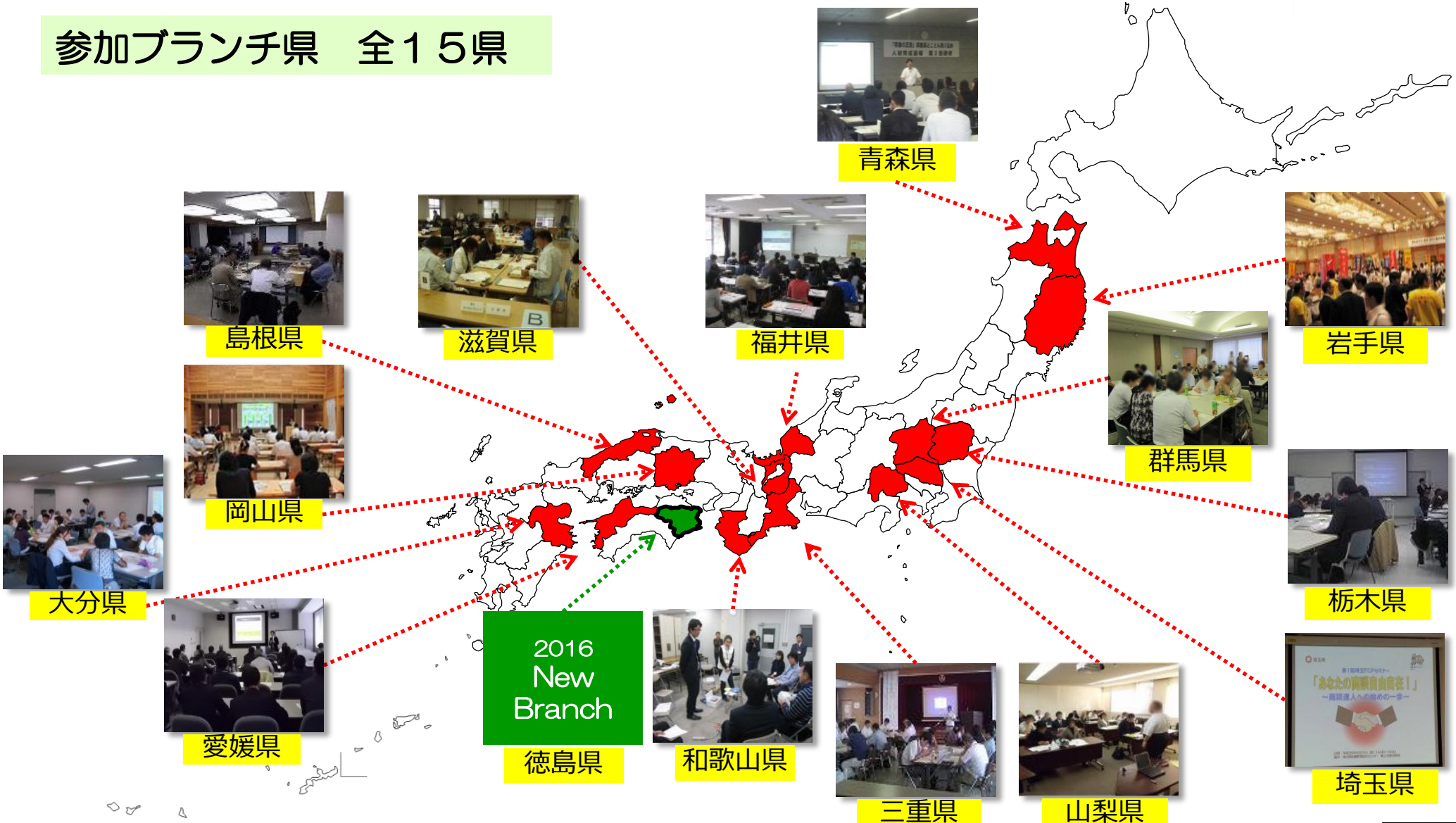
目的

地方公共団体のネットワークを使って、各地方の食品事業者が抱えている問題をＦＣＰ活動により解決し、食の安全・消費者の信頼向上につなげていく。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

ＦＣＰ地域ブランチ開催都道府県

参加ブランチ県　全１５県



Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved

ＦＣＰ地域ブランチ立ち上げまでの手順（イメージ）

ＦＣＰへの賛同表明（情報共有ネットワークへの参加！）

↓

皆様の地域の課題に即して、どのようなＦＣＰを活用した取組を行うか、ブランチの活動内容のご検討（ＦＣＰ事務局もお手伝いします！）

↓

地域ブランチの活動計画をＦＣＰ事務局と共有

↓

地域ブランチ立ち上げ

状況に応じて、ＦＣＰ事務局と連携しながら、
随時活動内容を見直し、目的に沿ってＦＣＰの活用方法を推進

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

地域ブランチ活動のパターン例

１．既存事業や協議会活動等でのＦＣＰツールの活用

●既存の各県事業での活用

・商談会開催、　６次産業化振興でのＦＣＰシートの活用
・ビジネスプランコンペの審査項目にベーシック16を活用
・ブランド認定制度の評価項目の見直しで、協働の着眼点を参照　等

●都道府県の施策推進で連携している事業者団体や財団法人などのパートナーが、研修会・人材育成事業などでＦＣＰツールを使用する場合に、都道府県とＦＣＰ事務局が共催者として参画、実施をサポート

２．セミナーの開催

●ＦＣＰ基礎講座（ＦＣＰの考え方、ＦＣＰツールの活用紹介）の開催
●目的に応じたテーマでの開催（コンプライアンス、販路拡大、６次産業化等）
●人材育成プログラムにＦＣＰの内容を盛り込み

３．研究会の開催

●ＦＣＰを推進している事業者が集まって研究会を開催し、特定のテーマに関して意見交換を実施

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

地域ブランチ活動について
（平成29年度に実施予定の活動例）

● 既存地域ブランチへの対応

今後HACCP義務化に向けて、ますます関心が高まる食品安全についての最新情報の共有および意見交換、セミナーへの事務局員派遣や講師紹介などを通じ、引き続き活動を支援します

● 新規地域ブランチの立ち上げ

地域でのFCPの取組の浸透を目指し、引き続き新規の地域ブランチの立ち上げを推進、サポートします

● 都道府県意見交換会

都道府県意見交換会を２月末に予定しています。
各県の実施状況や好事例などを共有し、次年度以降の活動につなげます

地域ブランチの成功にはアドバイザーの方々のご協力が欠かせません。
情報提供、セミナーでの講演等のご支援をよろしくお願いします。
セミナー等でご講演いただける方はぜひ、FCP事務局までご連絡下さい。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

４．（２）－２
子ども霞が関見学デー

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

子ども霞が関見学デー
趣旨

・子ども霞が関見学デーは、農林水産省や文部科学省など各府省庁等が、業務説明や省内見学などを行うことにより、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とする取組です。

・農林水産省では、毎日の「食」を生み出す農林水産業への理解を深めていただくことを目的として、平成12年度より実施しています。

・ＦＣＰでは、「ひろげる」活動の一環として、ＦＣＰ参加企業の食の安全・信頼向上の取組を子どもたちに紹介し、情報を提供することで、消費者との信頼関係の構築につなげます。
（ＦＣＰは平成２４年から参加しています）

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

子ども霞が関見学デー
概要

- 日程・場所

日程：平成29年８月２日（水）－８月３日（木）

時間：１０時～１６時

場所：農林水産省内

- 出展企画（案）
子どもたちが食品や企業の安全・信頼向上の取組について
楽しく学べる機会をつくります

・ＦＣＰの活動内容、ＦＣＰ参加企業・団体の食の安全・信頼向上の取組をパネル展示
・展示内容にヒントがあるクイズラリーの実施
・参加企業・団体による食育に関する実演や、キャラクター（着ぐるみ）との記念撮影

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

子ども霞が関見学デー
プログラム案

【１】パネル展示

・企業・団体の食の安全・信頼向上の取組を紹介
・ＦCPの「協働の着眼点」と活動内容を紹介

【２】実演

・食べ物に関する話や商品ができるまでなど、
子どもたちが触ったり、体験できるコーナーを設置
（実演時間は1実演、30分から45分程度を予定）

【３】クイズラリー

・各パネルを見ると答えが分かるクイズを実施
参加者はクイズ用紙を持って、パネルを順番に見て
クイズに答えていくラリーに挑戦

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

子ども霞が関見学デー
プログラム案

【４】ＦＣＰツール、食育関連資料配付

・FCP活動のチラシや各企業・団体の食育関連パンフレット等を配布し、食品事業者の食の安全・信頼向上の取組を紹介

・FCP活動の成果物（平成28年度つながる会議「食品初耳学！第2弾」で得た情報・知識をまとめた冊子を配布・展示

【５】キャラクター（着ぐるみ）

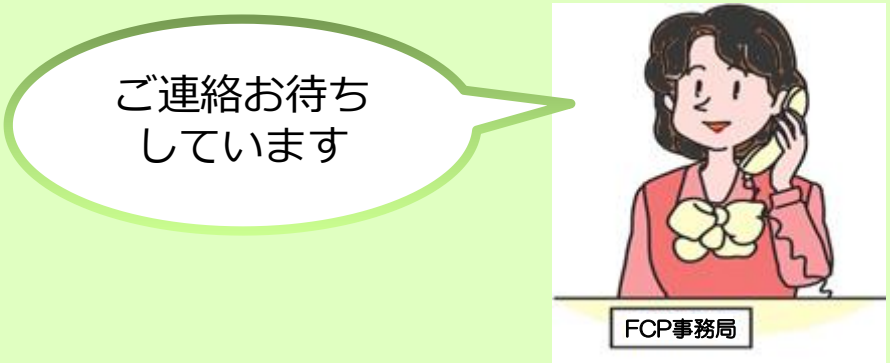
・企業、団体様のキャラクターにご協力いただき、子どもたちとの記念撮影と、触れ合いにより展示、実演ブースに関心を誘導

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

子ども霞が関見学デー
（ご協力のお願い）

【参加企業・団体募集】

趣旨にご賛同いただける企業・団体様を募集しております。
お問い合わせ、参加をいただける企業・団体様は、FCP事務局までメールまたはお電話ください。



Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

5．その他

- FCP研究会・勉強会の参加登録について

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

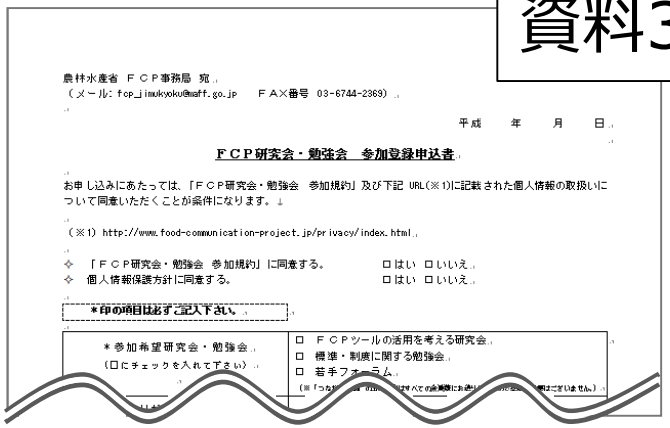
FCP研究会・勉強会の参加方法

皆様の積極的なFCP研究会・勉強会のご登録をお待ちしております。
研究会・勉強会へのご参加は以下の２つの手順でお申し込み下さい。

Step１：FCP研究会･勉強会　参加登録申込書の記入

参加規約をお読みいただいた上で、参加したい研究会・勉強会にチェックを入れ必要事項を記入し「参加登録」をしていただきます。
（【資料３】を参照）

資料3


農林水産省　ＦＣＰ事務局　宛
（メール：fcp_jimukyoku@maff.go.jp　　ＦＡＸ番号　03-6744-2369）

平成　　年　　月　　日

ＦＣＰ研究会・勉強会　参加登録申込書

お申し込みにあたっては、「ＦＣＰ研究会・勉強会　参加規約」及び下記 URL(※1)に記載された個人情報の取扱いについて同意いただくことが条件になります。

（※1）http://www.food-communication-project.jp/privacy/index.html

✧　「ＦＣＰ研究会・勉強会　参加規約」に同意する。　　□はい　□いいえ
✧　個人情報保護方針に同意する。　　□はい　□いいえ

＊印の項目は必ずご記入下さい。

＊参加希望研究会・勉強会
（□にチェックを入れて下さい）

□　ＦＣＰツールの活用を考える研究会
□　標準・制度に関する勉強会
□　若手フォーラム

Step2：申込案内への記入

参加登録いただいた研究会・勉強会の事務局担当者よりメールにて各回「参加申込書」をお送りします。参加される際は、参加するすべての方について必要事項を御記入の上、ご返送下さい。

若手フォーラムについては、登録方法が異なります。
募集要項、参考資料（平成28年度活動報告、平成29年度活動計画詳細）をご参照のうえ、資料４裏面参加申込書からお申し込みいただきます。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

- 平成２９年度FCP活動説明会に関するご意見について

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.

平成２９年度FCP活動説明会に関するご意見

本日は、FCP活動に関する説明会に出席いただき、ありがとうございました。

FCP活動説明会に関するご意見、FCPのツールやその他FCP全般に関するご意見を、

【資料５】にご記入いただき、机の上にそのまま置いてお帰り下さい。

書き切れない場合には、後日メールまたはFAXにてFCP事務局までご返送下さい。

資料5

平成２９年度ＦＣＰ活動に関するご意見

いつもFCP活動にご理解いただきまして誠にありがとうございます。

今後の FCP 活動を充実したものにするため、本日説明いたしました平成 29年度 FCP 活動に関して、ご意見をいただきたく、ご協力をお願いします。

貴社・貴団体名		ご氏名	
メールアドレス		お電話番号	

Ⅰ．FCP 活動全般について

・本日の平成 29年度 FCP 活動説明会において説明した活動全般に対するご意見がございましたら、ご記入下さい。

Copyright (C) 2017 MAFF All Rights Reserved.